

スマートロック 01

UKA01A

取扱説明書



このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品はZ-Wave Plus対応のスマートロックです。

本製品を扉に取り付けると、専用アプリにて鍵の施錠・解錠を行ったり、鍵の施錠・解錠の状態が確認できます。

本製品のご使用には、専用アプリおよびゲートウェイの登録が必要です。

- ・スマートフォンに専用アプリをインストールする必要があります。
- ・専用アプリのインストール、ゲートウェイの登録方法、本製品の登録方法などについては、『接続ガイド』を参照してください。

ご利用上の注意

取扱説明書の記載に従い、正しく設置設定を行ってください。正しく設置設定を行わない場合、正常に動作しないことがあります。

<通信について>

- 本製品は通信を利用して鍵の状態確認、施錠・解錠を行います。通信が不安定な場合、正常に動作しないことがあります。

- ゲートウェイからの距離が遠い場合や別の部屋に設置されているなどによりゲートウェイからの電波が弱い場合、通信が不安定になり正常に動作しないことがあります。ゲートウェイと本製品との距離が離れる場合、または異なる部屋に設置される場合は、レピータの利用を推奨します。

- 通信機能が利用できない場合、専用アプリからの施錠・解錠が行えませんので、従来の鍵は常に携帯してください。

<オートロックについて>

- オートロック機能を有効にするためには、マグネットセンサーを設置する必要があります。正しく設置されていることを確認のうえ、オートロック機能を有効にしてください。マグネットセンサーを正しく設置せずにオートロック機能を有効にすると施錠できません。

- オートロック機能を有効にすると、扉が閉まったことを検知し自動的に施錠します。ゴミ出し、郵便物の確認などの一時的な外出の際も、従来の鍵、スマートフォンを常に携帯してください。

- 従来の鍵、スマートフォンを携帯しない場合、施錠による締め出し状態になる恐れがあります。オートロック機能をご利用の際は、同居されるご家族の方にも施錠による締め出し状態になる恐れについて十分な説明を行ってください。

<施錠について>

- オートロック機能および遠隔施錠機能は、扉に物が挟まったりするなど、確実に扉が閉まっていないと、施錠されない場合や鍵が壊れる場合があります。扉を閉める際は、扉が完全に閉まっていることを必ず確認してください。

<家族共有機能について>

- 家族共有機能を有効にすると、共有のアカウントでも鍵の状態確認や施錠・解錠が可能となります。共有先を誤ると、共有された第三者にも施錠・解錠が可能となりますので、共有先に誤りが無いよう十分にご注意ください。

<電池切れについて>

- 電池切れの場合は、本製品のすべての機能が動作しません。「電池を交換してください」と専用アプリに表示された場合は、速やかにすべての電池を新品と交換してください。

<通知機能について>

- 通知(施錠・解錠、こじ開け検知など)は完全性を保証するものではありません。

<取り外したサムターンについて>

- 取り外したサムターンは故障や利用終了などにより本製品を取り外した後に必要となりますので、大切に保管してください。

<サービス解約後の利用について>

- サービスの休止、解約時は本製品の機能のうち、通信を利用する機能が利用できなくなります。オートロック機能のみ継続的に利用可能です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		

<免責事項について>

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、家財の盗難、施錠による締め出し状態)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社出荷時の科学・技術水準では、予見不可能だった事由により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

※本書で表す「当社」とは以下の企業を指します。
提供元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株) 製造元：UNIONCOMMUNITY Co.,Ltd 輸入元：安田株式会社

取り扱い上のお願ひ

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度-20℃～60℃、湿度15%～90%の範囲内でご使用ください。)
- 水をかけないでください。
- 本製品は防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所や、雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり無償交換できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。また、アルコール・シンナー・ベンジン・除光液などの薬品、洗剤などで拭かないでください。塗装や印刷の剥がれ・色あせ・異臭の発生などの原因となります。なお、拭き取れない場合でも、こすように強く拭かないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- お客様のご使用状況・環境などにより、変色または変質する場合があります。
- 本製品を加熱したり、火気に近づけたりしないでください。使用状況・環境などにより、変色する場合があります。
- また、使用状況により、本製品の色が接触したものに色移りする場合があります。
- マグネットセンサーにシールを貼ったり、覆ったりしないでください。正しく感知できなくなります。
- 本製品を改造することは電波法で禁止されています。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技術マーク◎」が本製品本体の銘板シールに表示されております。本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 電波干渉による他の機器への影響や不適合を避けるため、機器の電源を切るよう指示のある場所では本製品をご使用にならないでください。(例：病院などの医療施設)

⚠ 危険

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

	必ず指定の機器をご使用ください。指定の機器以外を使用した場合、発熱・発火・感電・破裂・故障・漏液の原因となります。対象機種については、保証書に記載の「お問い合わせ先」へお問い合わせください。
	高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中直射日光の当たる場所)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
	火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
	お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や指定の機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。
	液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
	釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。
	水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。
	感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には使用を中止してください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

⚠ 警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

	落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
	乳幼児の手が届く場所には置かないでください。舐めたり、小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。
	ペットが噛みつかないようにご注意ください。漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
	極端に高温や低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。
	使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。
	落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。発火・破裂・発熱・漏液の原因となります。
	異臭、発熱、変色、変形などの異常が見られた場合は使用しないでください。液漏れや異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。
	使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。
	ペースメーカー等の産業・科学・医療機器の近くでは、使用しないでください。電波により医用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

	床に放置しないでください。誤って踏みつけたり、転倒した際に、けがや事故などの原因となります。
	皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
	アルコール・シンナー・ベンジン・除光液などの薬品、洗剤などをかけないでください。塗装や印刷の剥がれ・色あせ・異臭の発生などの原因となります。

本製品の使用材質

■本体

使用箇所	使用材質	表面処理
本体部	PCABS	-
インナーパッド	シリコン	-
PCBカバー	ポリカーボネート	-
サムターン	垂鉛合金	クロメート
バッテリー端子	ステンレス	-
ディップスイッチ	ポリフェニレンスルファイド/ポリアミド6T	-
電池外し用ストラップ	ポリエチレンテフタレート	-

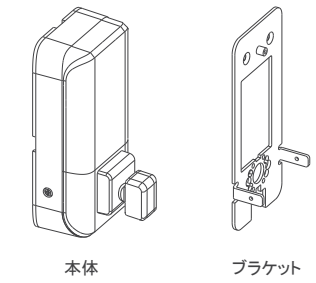
■付属品

使用箇所	使用材質	表面処理
ブラケット	SPCC	垂鉛めっき
アダプタ	垂鉛合金	クロメート
固定治具	PCABS	-
固定パーツ	垂鉛合金	-
パネホルダ	ポリアセタール/SWPP	-
マグネットセンサー	ABS	-
マグネットセンサー用ケーブル	ポリ塩化ビニル	-
ライナー	ポリカーボネート	-
ネジ	SWCH18A	ニッケルめっき

同梱物

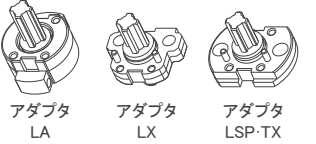
ご使用いただく前に、下記と同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。
本書に記載されているイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

■本体



■アダプタ

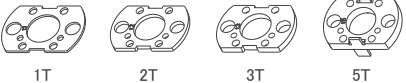
本体と扉をつなぎ、解錠・施錠するためのパーツです。錠のタイプにより使用するアダプタが異なります。



■ライナー

本体が扉面と段差なく接続するために、アダプタの厚みを調整するためのパーツです。錠のタイプにより使用するライナーや厚みが異なります。

(ライナーA・C・Dタイプ用)



(ライナーBタイプ用)



■マグネットセンサー



■アダプタ取付ネジ

- ネジ M3X14 4本
- ネジ M3X12 4本
- ネジ M3X8 2本

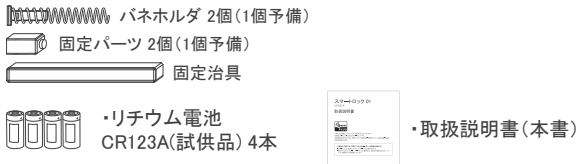
■シリンダー取付ネジ

- ネジ M5X50 2本
- ネジ M5X45 2本
- ネジ M5X40 2本
- ネジ M4X10 2本

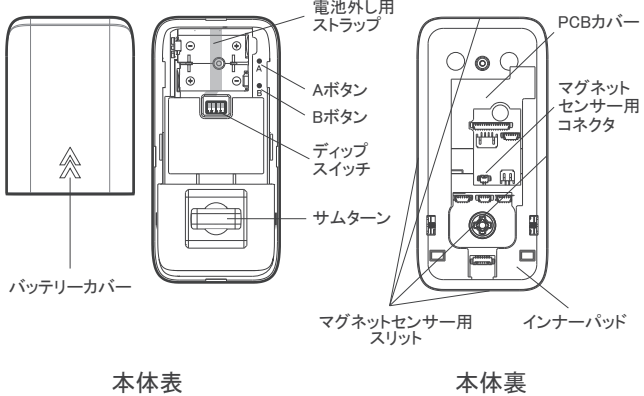
■本体取付ネジ

- ネジ M3X6 3本

■その他

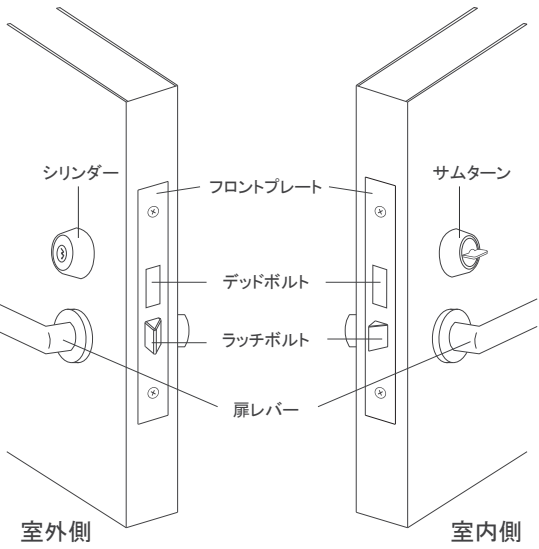


各部の名称



扉・鍵に関する用語

<扉・鍵の各部名称>



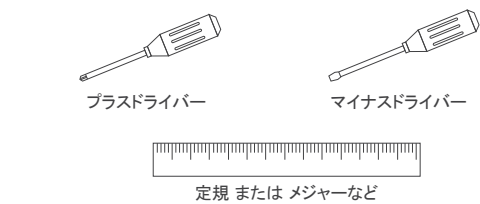
<左勝手・右勝手について>

左勝手	室内側から見て、デッドボルトが左側にある状態
右勝手	室内側から見て、デッドボルトが右側にある状態

※上図は「左勝手」です。

設置に必要な工具

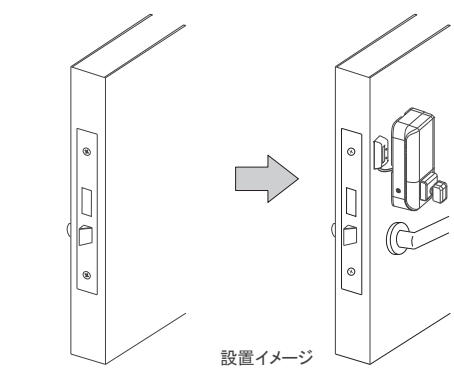
本製品の設置には、次の工具が必要となります。
お客さまにてあらかじめご準備ください。



設置の手順

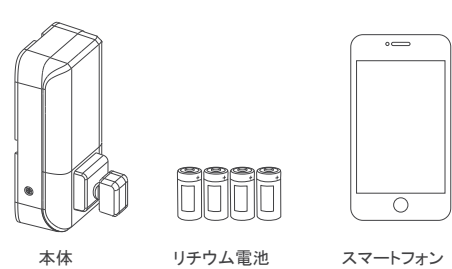
本製品の設置は、次の手順で行います。

- Step1 設置前の準備**
設置前の準備は、ゲートウェイの近くで行います。
- Step2 設置に必要なものの準備**
鍵の品番・扉の厚みから錠のタイプを確認し、設置に必要なものを準備します。
- Step3 サムターンの取り外し**
Step2で確認した錠のタイプに対応した手順に沿って、サムターンを取り外します。
- Step4 ブラケットの扉への取り付け**
Step2で確認した錠のタイプに対応した手順に沿って、本体の台座となるブラケットを扉に取り付けます。
- Step5 マグネットセンサーの組み立て**
マグネットセンサーを本体に取り付けるために組み立てます。
- Step6 サムターンの回転方向設定**
右勝手・左勝手に合わせてサムターンの回転方向を設定します。
- Step7 本体とマグネットセンサーの取り付け**
本体を扉に設置し、マグネットセンサーを扉および扉枠に取り付けます。
- Step8 ディップスイッチの設定と電池の挿入**
お客さまの扉に合わせた設定を行います。



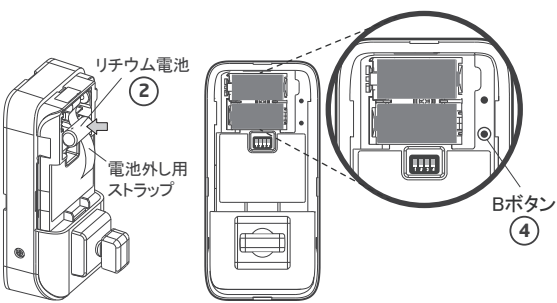
Step1 設置前の準備

■このStepに必要なもの



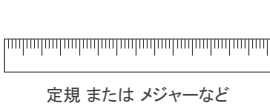
■本製品の登録

- ①バッテリーカバーを開けます。
- ②リチウム電池4本を本体にセットします。このとき、電池外し用ストラップの上からリチウム電池を取り付けます。
- ③ゲートウェイの1m以内に本体を置きます。
- ④スマートフォンの専用アプリを起動し、専用アプリに表示される手順に従って本製品を登録します。登録手順に出てくる「Bボタン」の位置は、下図をご参照ください。
- ⑤リチウム電池4本を本体から取り外します。
※電池外し用ストラップを手前に軽く引くと、リチウム電池をかんたんに取り外せます。



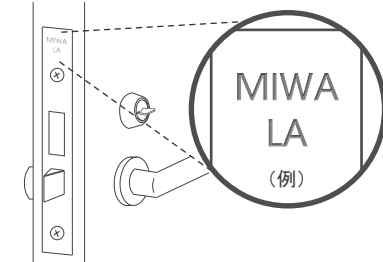
Step2 設置に必要なものの準備

■このStepに必要なもの



■鍵の品番を確認し、錠のタイプを調べる

- ①本製品を取り付ける扉を開けて、フロントプレートの刻印をチェックします。



- ②刻印にあるメーカー名と品番を「錠のタイプ確認表」で確認し、錠のタイプを調べます。
※表に記載がないメーカーや品番の場合は設置できません。



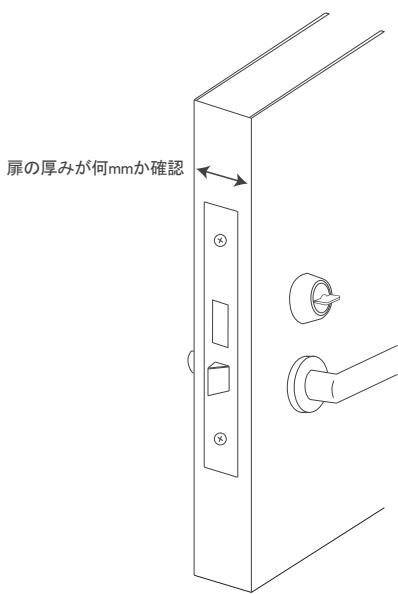
■錠のタイプ確認表

メーカー名	品番	錠のタイプ
MIWA	13LA	Aタイプ
	DA	
	DAF	
	DASP	
	DH	
	DV	
	DVF	
	FG	
	LA	
	LA・MA	
	LAF	
	LASP	
	LDA	
	LV	
	LVF	
	PPF	Cタイプ
	PPVF	
	QDD-876	
	WLA	
	08FE	
	08FESP	
	08LEF	
	FE	
	FESP	
	FE+GAF	
	GAA	Dタイプ
	GAF	
	LSP	
	LE	
	LE-01	
	LE-03	
	LE-11	
	LE-14	
	QDA345	
	QDC	
	QDK-668	Aタイプ
	QDV	
	SWLSP	
	TE	
	TE-01	Cタイプ
	TE-02	

メーカー名	品番	錠のタイプ
MIWA	TE-03	Cタイプ
	TE-07	
	TE-08	
	TE-09	
	TESP	
	AS	
	AS・LX	
	ASC	Bタイプ
	HD	
	HDH	
	LD	
	LDK	
	LG	
GOAL	LGK	Dタイプ
	LGT	
	LX	
	LXD	
	PL	
	PLK	
	SX	
	SK	Aタイプ
	TG	
	TLK	
	TTX	
	TX	
	TXK	
	QDD-866(TXK)	Cタイプ
Clavis	CD	
	LC	
	MC	
	LF	Cタイプ
U-shin SHOWA	SLA	
	QDJ-695	Cタイプ
	QDJ-696	
	QDJ-902	
WEST	D06	Aタイプ

■扉の厚みを確認し、使用するパーツを選ぶ

- ①扉を開けて、扉の厚みを定規で測って確認してください。



- ②測った扉の厚みをもとに、取り付けに使用するパーツ(ライナー、アダプタ、シリンダー取付ネジ、アダプタ取付ネジ)を右の表から確認してください。

- ③ ②で確認したパーツを同梱物から取り出します。ライナーは4つの厚みのパーツが一気に繋がっていますので、必要なパーツを切り離します。

※選択しなかったタイプのライナーは、以降のStepでは使用しません。

※選択しなかったアダプタは、以降のStepでは使用しません。
※選択しなかったネジは、本体取付用の「ネジM3X6 3本」を除き、以降のStepでは使用しません。

Step3 サムターンの取り外し

■このStepに必要なもの

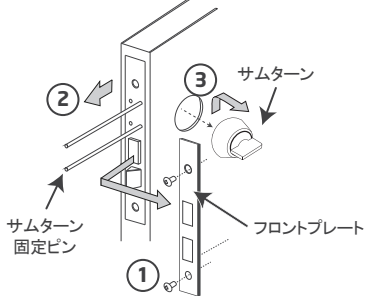


■既存のサムターンの取り外し

※Step2で確認した錠のタイプによって、取り外し方が異なります。

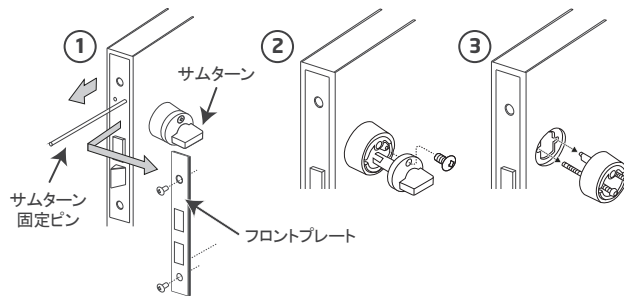
⚠ 注意 サムターン固定ピンを抜いたりネジを外した際に、サムターンやシリンダーが落下することがあります。サムターンやシリンダーを手で押さえながら取り外してください。

● Aタイプ



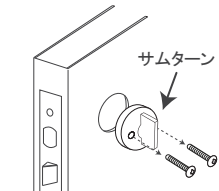
- ①フロントプレートを取り外します。
- ②マイナスドライバーを使ってサムターン側の上下2本のサムターン固定ピンを抜き取ります。
- ③サムターンを取り外します。
※フロントプレート用ネジ、フロントプレート、サムターン固定ピンはStep4で使います。
※取り外したサムターンは以降のStepでは使いませんので、大切に保管してください。

● Bタイプ



- ①フロントプレートを取り外し、サムターン側のサムターン固定ピンをマイナスドライバーを使って抜き取ります。
- ②サムターンのネジを外します。
- ③サムターンを外すと現れる2本のネジを外し、サムターン本体部を取り外します。
※フロントプレート用ネジ、フロントプレート、サムターン固定ピンはStep4で使います。
※取り外したサムターンおよびネジは以降のStepでは使いませんので、大切に保管してください。

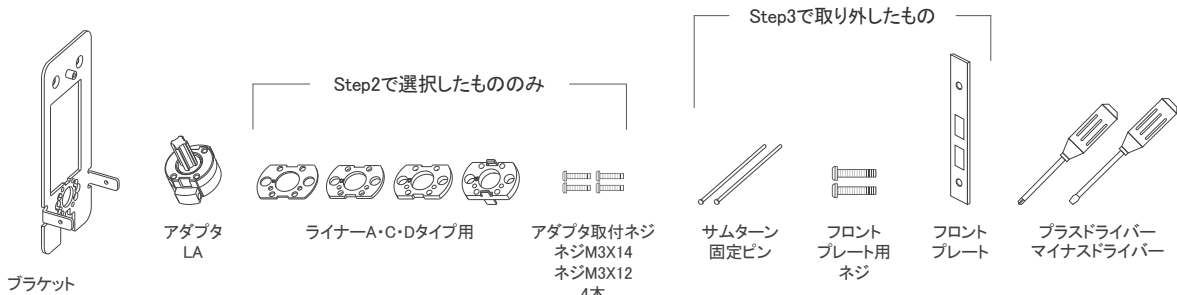
● Cタイプ・Dタイプ



扉を開け、サムターンの2本のネジを外し、サムターンを取り外します。(サムターンのネジは、隠れている場合があります。)
※取り外したサムターンおよびネジは以降のStepでは使いませんので、大切に保管してください。

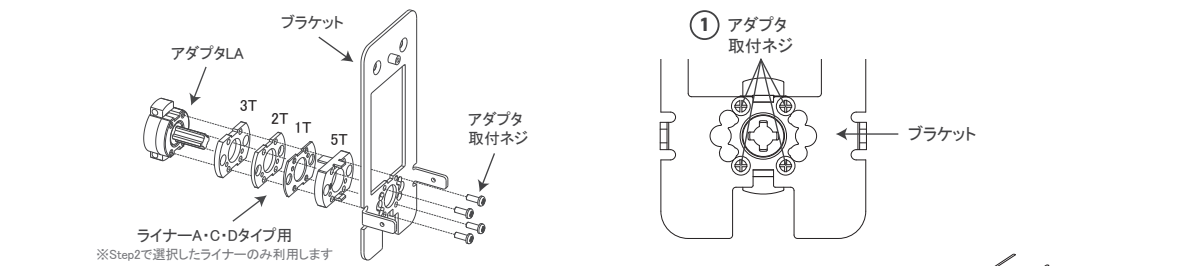
Step4 ブラケットの扉への取り付け(Aタイプ)

■このStepで必要なもの



■アダプタLAの取り付け

- ①ブラケットにアダプタLAをアダプタ取付ネジで固定します。
※Step2で選択したライナーを追加して固定します。



- ②①でブラケットに固定したアダプタLAを室内側から扉に取り付けます。手でアダプタLAの軸を左右に回し、デッドボルトの出し入れができることを確認してください。

- ③サムターン固定ピンを扉側面から差し、ブラケットを固定します。ラッチボルトの向きを確認し、フロントプレートを元のように付け直します。
※サムターン固定ピンがうまく差せない場合や、ブラケットが扉本体から浮く場合は、ライナーの厚みを変えて調節します。
※固定が不安定な場合は、ブラケットについている両面テープのはく離紙を剥がし、扉面に貼り付けて固定します。

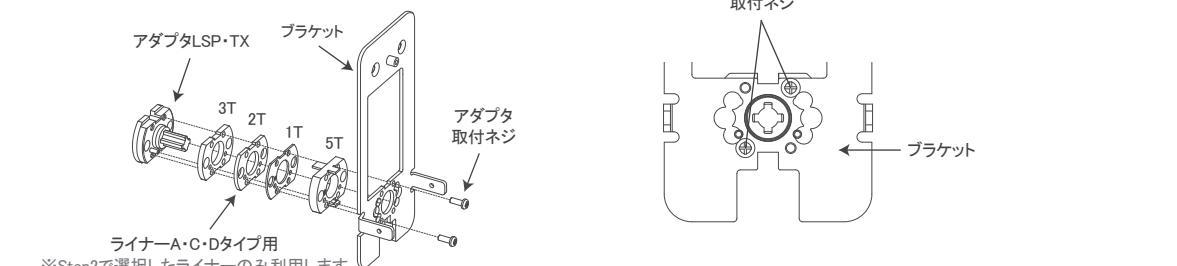
Step4 ブラケットの扉への取り付け(Dタイプ)

■このStepで必要なもの



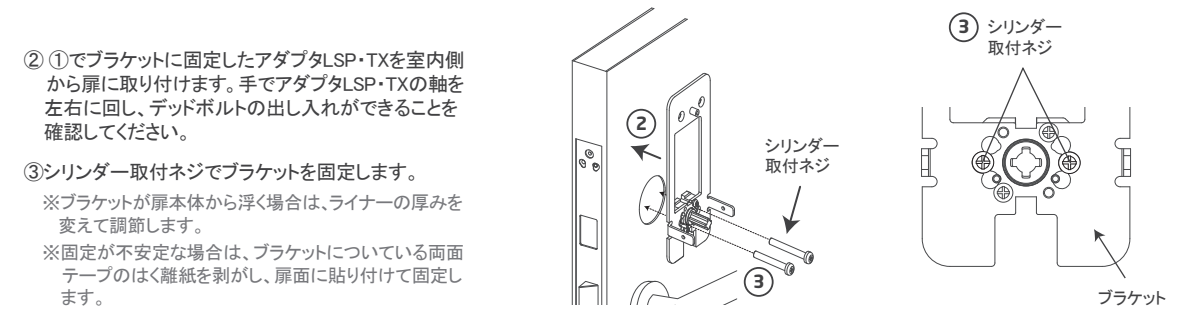
■アダプタLSP・TXの取り付け

- ①ブラケットにアダプタLSP・TXをアダプタ取付ネジで固定します。
※Step2で選択したライナーを追加して固定します。



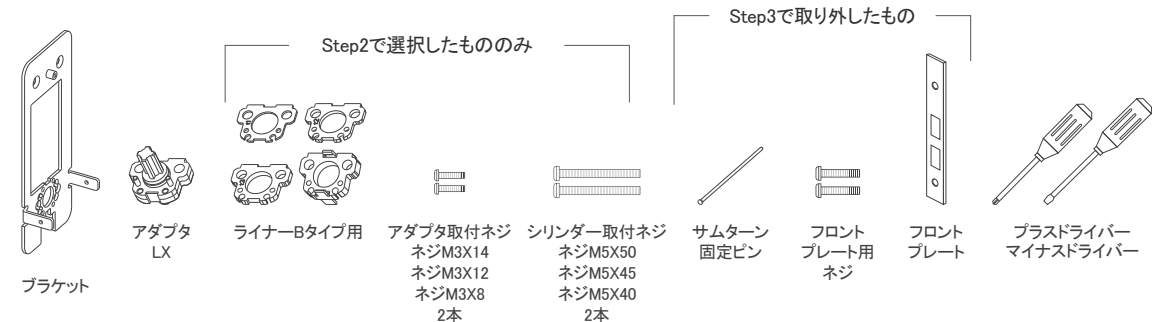
- ②①でブラケットに固定したアダプタLSP・TXを室内側から扉に取り付けます。手でアダプタLSP・TXの軸を左右に回し、デッドボルトの出し入れができることを確認してください。

- ③シリンダー取付ネジでブラケットを固定します。
※ブラケットが扉本体から浮く場合は、ライナーの厚みを変えて調節します。
※固定が不安定な場合は、ブラケットについている両面テープのはく離紙を剥がし、扉面に貼り付けて固定します。



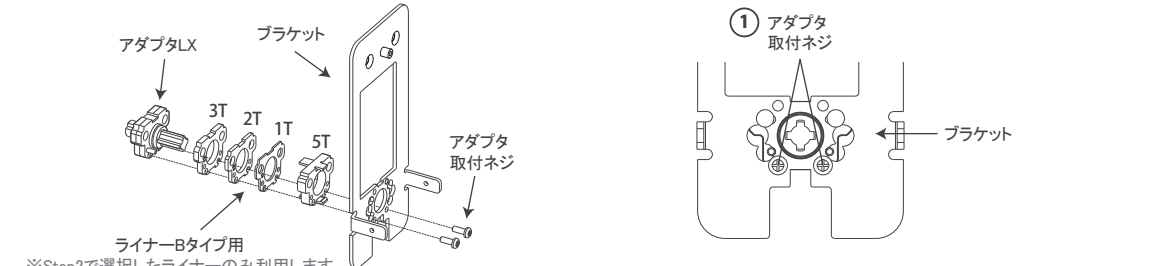
Step4 ブラケットの扉への取り付け(Bタイプ)

■このStepで必要なもの



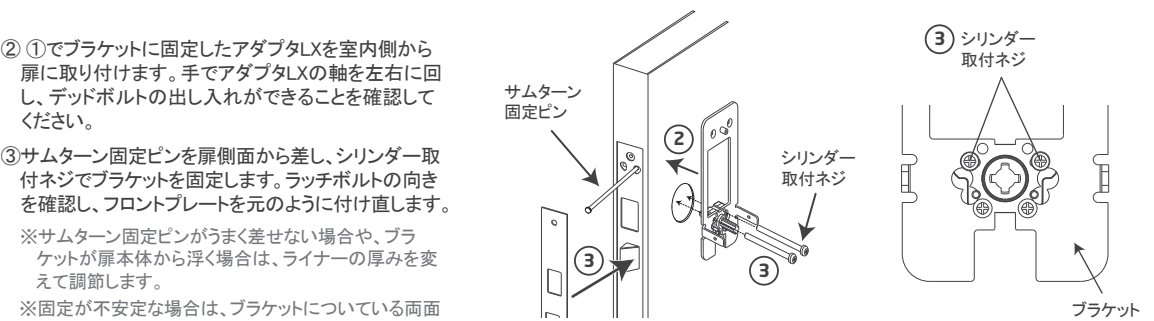
■アダプタLXの取り付け

- ①ブラケットにアダプタLXをアダプタ取付ネジで固定します。
※Step2で選択したライナーを追加して固定します。



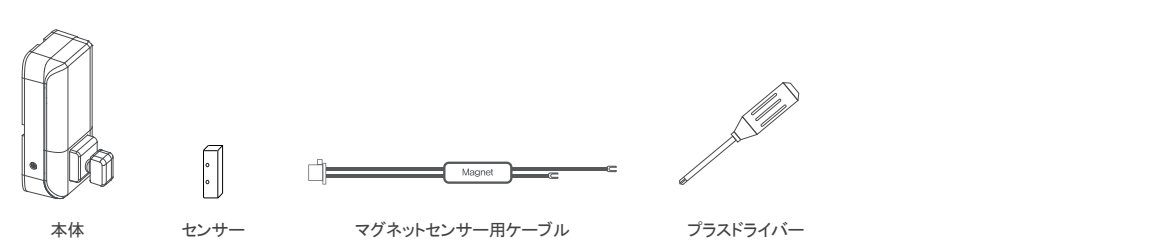
- ②①でブラケットに固定したアダプタLXを室内側から扉に取り付けます。手でアダプタLXの軸を左右に回し、デッドボルトの出し入れができることを確認してください。

- ③サムターン固定ピンを扉側面から差し、シリンダー取付ネジでブラケットを固定します。ラッチボルトの向きを確認し、フロントプレートを元のように付け直します。
※サムターン固定ピンがうまく差せない場合や、ブラケットが扉本体から浮く場合は、ライナーの厚みを変えて調節します。
※固定が不安定な場合は、ブラケットについている両面テープのはく離紙を剥がし、扉面に貼り付けて固定します。



Step5 マグネットセンサーの組み立て

■このStepで必要なもの



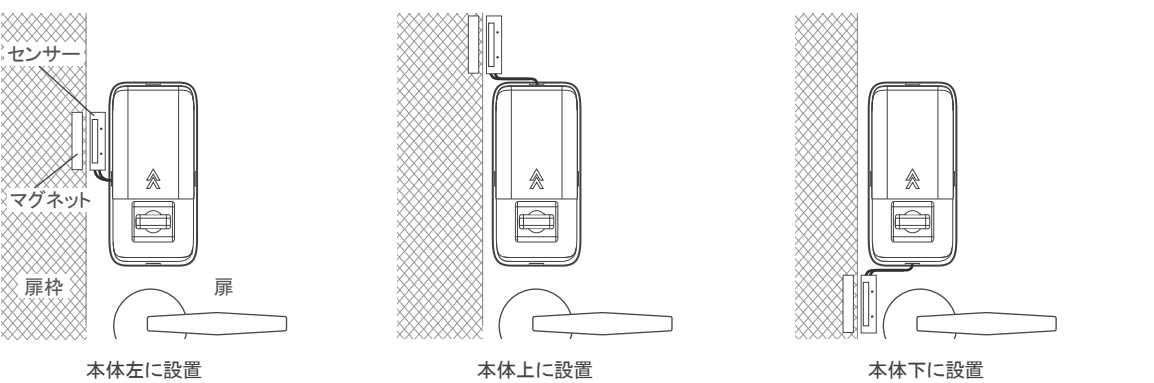
■マグネットセンサーとは

マグネットセンサーは、磁力の強弱を感知するセンサーと、磁力を発するマグネットを組み合わせ、扉と扉枠にそれぞれを設置することにより、扉の開閉を検知することができます。センサーにはマグネットがセンサー面から40mm以内に近づくとき扉が閉まったことを検知し、40mm以上離れるとき扉が開いたことを検知します。

■マグネットセンサーの設置位置を決める

マグネットセンサーを取り付ける位置を設置例を参考にして決めます。マグネットセンサーを設置する位置によってマグネットセンサーの組み立てとケーブルの本体への取り付け方が異なりますので、設置例を参考に確認してください。

<左勝手の扉のマグネットセンサー設置例>



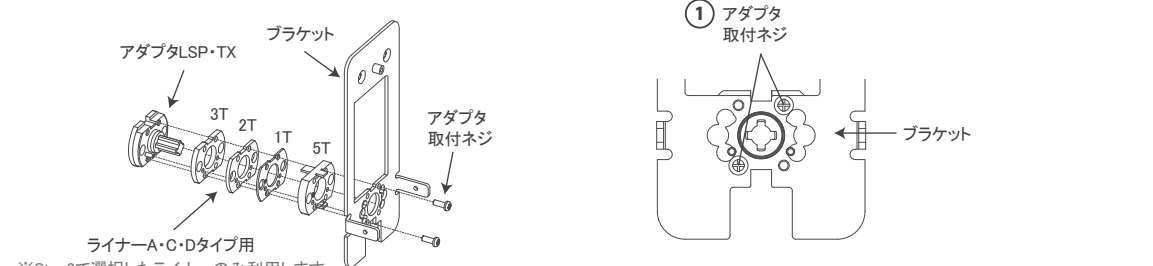
Step4 ブラケットの扉への取り付け(Cタイプ)

■このStepで必要なもの



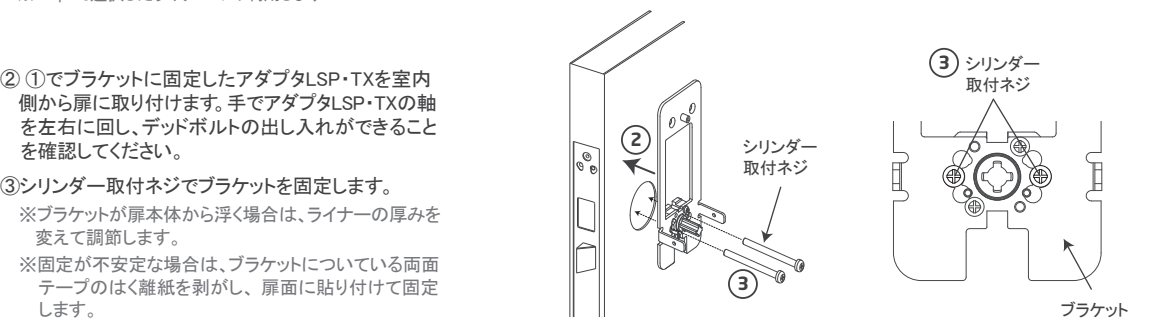
■アダプタLSP・TXの取り付け

- ①ブラケットにアダプタLSP・TXをアダプタ取付ネジで固定します。
※Step2で選択したライナーを追加して固定します。



- ②①でブラケットに固定したアダプタLSP・TXを室内側から扉に取り付けます。手でアダプタLSP・TXの軸を左右に回し、デッドボルトの出し入れができることを確認してください。

- ③シリンダー取付ネジでブラケットを固定します。
※ブラケットが扉本体から浮く場合は、ライナーの厚みを変えて調節します。
※固定が不安定な場合は、ブラケットについている両面テープのはく離紙を剥がし、扉面に貼り付けて固定します。



オートロックを有効にするためには、マグネットセンサーの設置が必要です。
オートロック機能を使用しない場合は、Step6へ進んでください。

■マグネットセンサーの組み立てと本体への取り付け

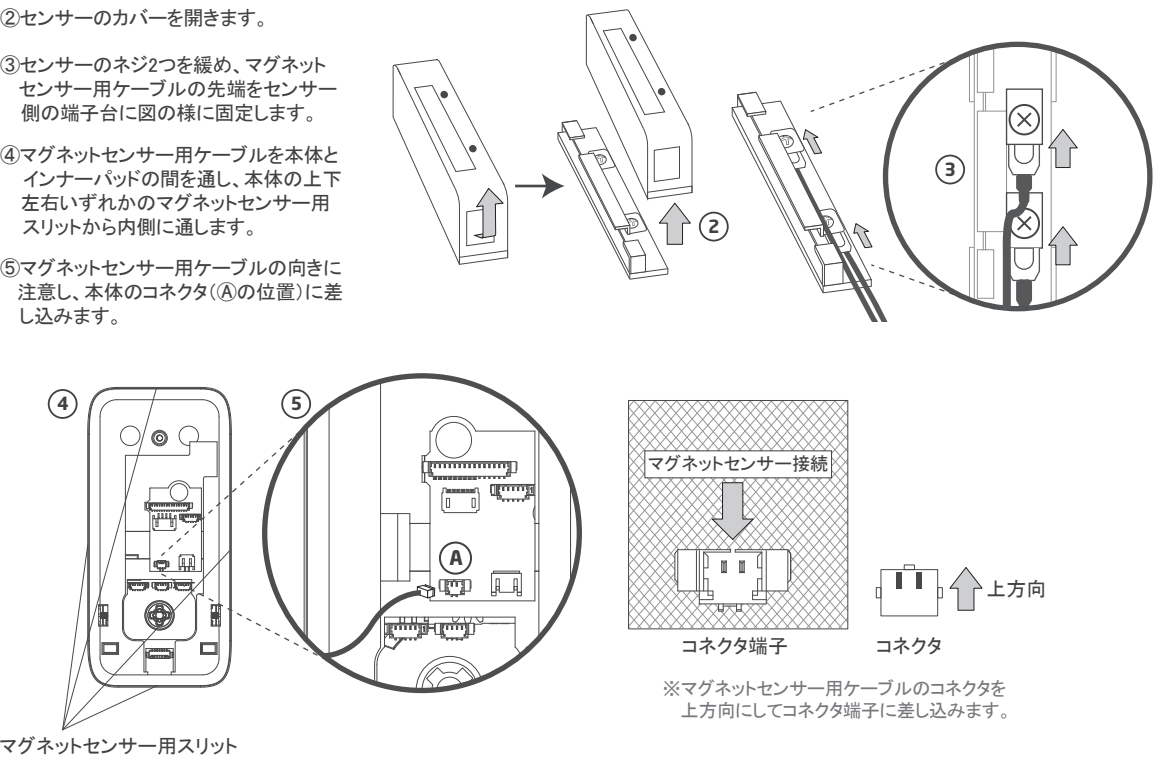
- ①前のページの設置例を参考に、マグネットセンサーの設置位置を決め、センサーにマグネットセンサー用ケーブルを取り付ける方向を確認します。

- ②センサーのカバーを開きます。

- ③センサーのネジ2つを緩め、マグネットセンサー用ケーブルの先端をセンサー側の端子台に図の様に固定します。

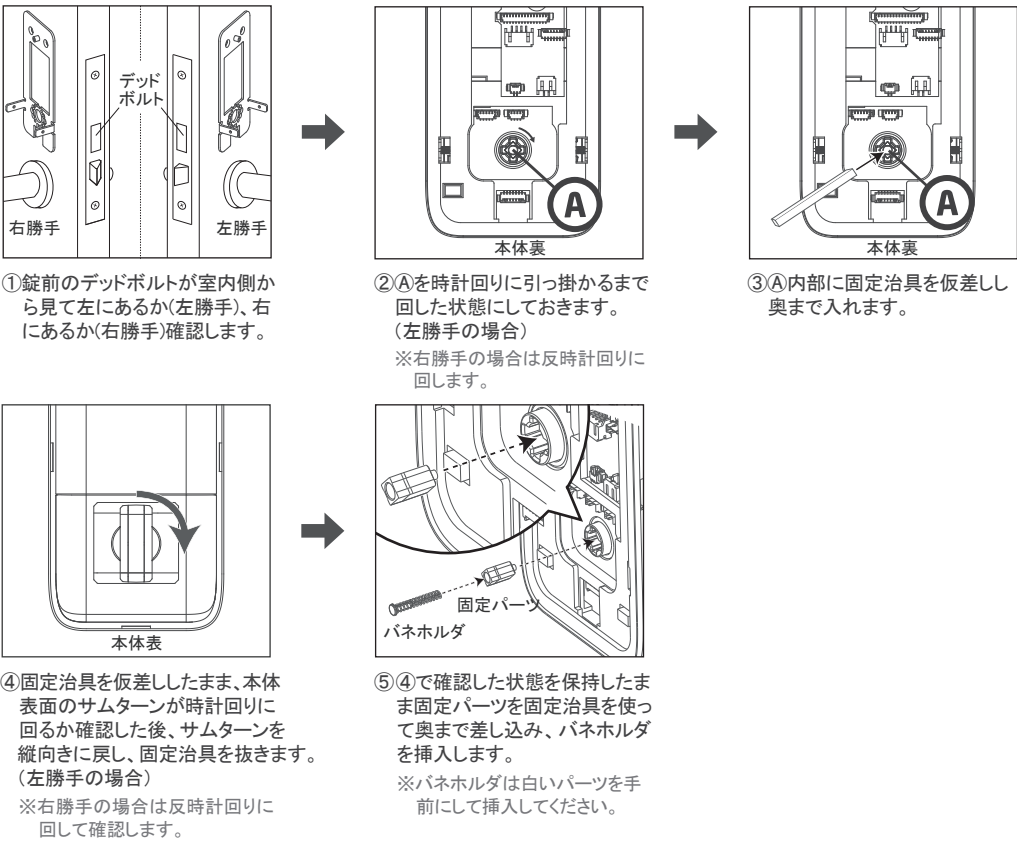
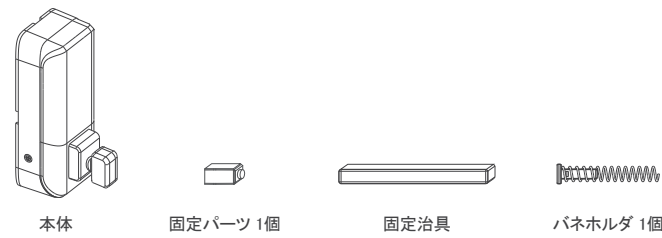
- ④マグネットセンサー用ケーブルを本体とインナーパッドの間を通し、本体の上下左右いずれかのマグネットセンサー用スリットから内側に通します。

- ⑤マグネットセンサー用ケーブルの向きに注意し、本体のコネクタ(Aの位置)に差し込みます。



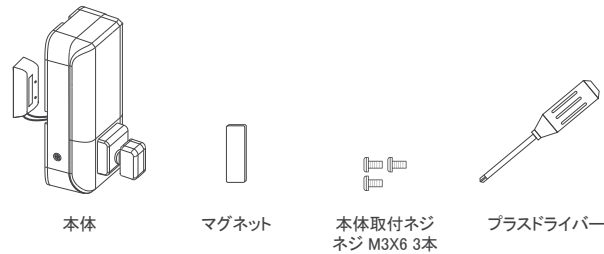
Step6 サムターンの回転方向設定

■このStepで必要なもの



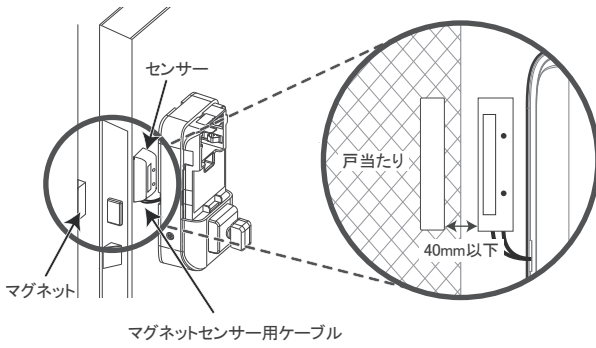
Step7 本体とマグネットセンサーの取り付け

■このStepで必要なもの



※本体には固定パーツ、パネルホルダ、センサー（設置する場合）が取り付けられた状態です

- 本体の取り付け
- ①パネルホルダが落下しないように注意しながら、本体をブラケットの方向に合わせて差し込み、本体の左右2箇所及び表面上部バッテリーカバーの内側1箇所をネジM3X6で固定します。
 - ②サムターンを回して、鍵の解錠、施錠ができるか確認します。回らない場合は、Step6に戻り、固定パーツを取り付け直します。
- マグネットセンサーの取り付け
- ③センサーとマグネットの取付位置を確認し、扉および扉枠の両面テープ貼付位置をきれいに掃除します。
※汚れが付着していると、両面テープが剥がれる場合があります。
 - ④センサーおよびマグネットの裏面のはく離紙を剥がし、扉および扉枠に貼付します。



センサーとマグネットのはく離紙を剥がし、センサーとマグネットの間が40mm以下となる場所に取り付けます。

Step8 ディップスイッチの設定と電池の挿入

■このStepで必要なもの

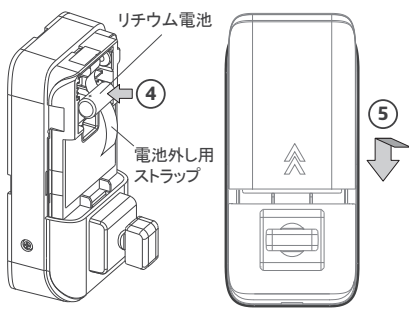
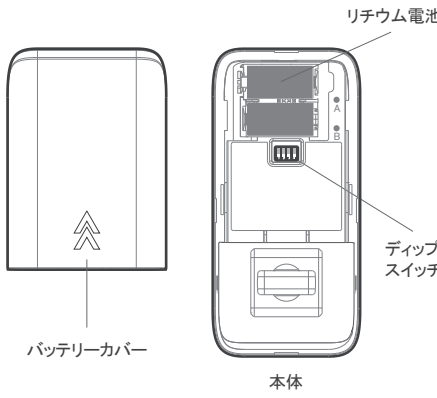


- ディップスイッチの設定
- ①左手の設定をします。ディップスイッチの1番を左手の場合はOFFに、右手の場合はONにします。（初期設定はOFFになっています）
 - ②オートロックの設定をします。ディップスイッチの4番をONに、オートロック機能を利用しない場合はOFFにします。
※マグネットセンサーを設置していない場合は、必ずOFFにしてください。ONにすると施錠できません。
 - ③音・音量の設定をします。音・音量の設定は、次項を参考にしてください。



■電池の挿入とバッテリーカバーの取り付け

- ④本体にリチウム電池4本を取り付けます。電池の＋、－の向きを確かめて、電池外し用ストラップの上から正しく挿入します。
- ⑤バッテリーカバーを取り付けます。バッテリーカバーを少し上にずらして被せた状態でサムターンの方向に「カチッ」と音がするまで押し込みます。



これで本製品の扉への設置は完了です。

ディップスイッチの機能一覧

スイッチ	1	2	3	4
設定内容	勝手	音	音量	オートロック
ON	右勝手 ON 1 2 3 4	ON 1 2 3 4	音量大 ON 1 2 3 4	ON ON 1 2 3 4
OFF (初期設定)	左勝手 OFF 1 2 3 4	OFF OFF 1 2 3 4	音量小 OFF 1 2 3 4	OFF OFF 1 2 3 4

設定後リチウム電池を本体から取り外し、再度取り付けください。

■左勝手・右勝手設定

扉の錠前のデッドボルトの方向が、室内側からみて左右どちらにあるかを設定することにより、サムターンの回転方向を変更します。左勝手の場合は1番をOFFに、右勝手の場合はONにします。

■音設定

施錠・解錠をした際に、「ピーローリッ」という音を鳴らすことができます。2番をONにすると音が鳴ります。さらに3番の設定により音量を調節することができます。音を鳴らさない場合は2番をOFFにします。

※音をOFFにしている場合も、電池を挿入した際、初期化した際、および強制侵入を検知した場合は音が鳴ります。

■オートロック設定

扉が閉まった際に、自動的に施錠をすることができます。4番をONにするとオートロックが有効になります。

※オートロックを有効にするには、マグネットセンサーの設置が必要です。
※オートロック機能を利用する際は、本書の「ご利用上の注意」をあらかじめよくお読みください。

本製品を取り付け直すとき

両面テープが取り付け面に残ったり、壁紙や扉をいためたりしないよう、注意して取り外してください。また、両面テープは再利用できません。新しく、市販の両面テープを貼り直してください。この時、本製品が扉から落下しないように取り付けられたことを確認してください。

強制侵入アラーム

■強制侵入アラームとは

正しく解錠を行わずに扉が開いた場合、アラーム音が鳴る機能です。
※強制侵入アラームを有効にするためには、マグネットセンサーの設置が必要です。

■強制侵入アラームが鳴った場合

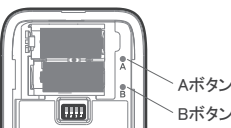
強制侵入アラームは、専用アプリから解錠することで止めることができます。

強制侵入アラームが鳴った場合は、扉や本製品に異常がないか確認を行ってください。また、正常に利用を再開するために、以下の点を確認してください。
・マグネットセンサーは正しく設置されていますか
・マグネットセンサー用ケーブルの接続に緩みはありませんか

初期化する

本製品が正常に動作しなくなった場合は、出荷時の状態に初期化してください。初期化の方法を説明します。

- ①サムターンを回して本体を解錠し、扉を開けた状態にします。
- ②本体のバッテリーカバーを開けて「A」ボタンと「B」ボタンを同時に5秒間押し続けます。初期化に成功すると「ビリリ」というブザーが鳴り、「ピーピー」というブザーが続けて鳴ります。

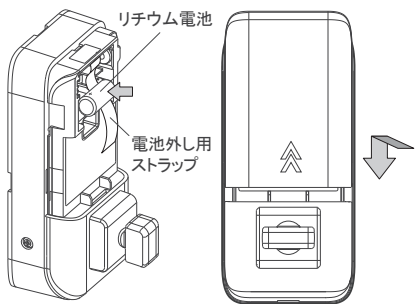


- ③バッテリーカバーを取り付けます。バッテリーカバーを少し上にずらして被せた状態で下の方向に「カチッ」と音がするまで押し込みます。
※ブザー音が鳴らない場合は、手順②からやり直してください。
※初期化が完了した後、専用アプリでデバイスの削除、再登録が必要です。デバイスの削除は専用アプリの設定画面から、デバイスの再登録は「設置前の準備」をご参照ください。

電池を交換する

電池の交換は以下の手順で行ってください。

- ①バッテリーカバーの下を押し付けながら持ち上げるようにして取り外します。
- ②リチウム電池4本を取り外します。
※電池外し用ストラップを手前に軽く引くと、リチウム電池をかんたんに取り外せます。
- ③新品のリチウム電池4本を入れます。
電池外し用ストラップを電池ボックスの奥に通し、電池の＋、－の向きに注意して図を参考に正しく入れてください。
- ④バッテリーカバーを取り付けます。バッテリーカバーを少し上にずらして被せた状態で下の方向に「カチッ」と音がするまで押し込みます。



故障とお考えになる前に

施錠・解錠の動作ができない。

- ・本製品を取り付けた場所に、設置した時から変化はありませんか？
⇒ 本体の取り付け状態を確認してください。

- ・錠のタイプに不適切な付属品を使っていますか？
⇒ 錠のタイプを確認して、正しい付属品を設置してください。また、付属品の設置忘れが無いかも確認してください。錠のタイプによって使う付属品が異なります。

- ・電池が消耗していませんか？
⇒ 新品のリチウム電池に交換してください。
⇒ 同梱の電池は試供品のため、寿命が短い場合があります。

- ・電池が逆挿入になっていませんか？
⇒ ラベルに記載の正しい＋、－の向きに挿入してください。

※その他、不具合があった場合は本書の「初期化する」の手順で、初期化を行ってください。

商標について

Z-Wave®は、米国および他の国で Silicon Labs と子会社の登録商標です。

仕様

通信方式	Z-Wave® (ZM5101)
対応周波数	922.50MHz, 923.90MHz, 926.30MHz (日本)
通信距離	約50m(見通し)
動作温度範囲	-20°C～60°C
動作湿度	15%～90%
外形寸法	W73.6mm x H153.6mm x D71.7mm
本体質量	483g
電池	リチウム電池CR123A 4本

※仕様および外観は、性能改良のため予告なく変更することがあります。

保証書

商品名	スマートロック 01 (UKA01A)	機器管理番号 ※	
保証期間	お買い上げ日より1年間	お買い上げ日 ※	
お客様	お名前 ご住所 電話番号	様	
販売店名 ※	店名・住所 電話番号		印

※印欄に記入がない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

本保証規定は、明示した期間、条件のもとで、無償交換をお約束するものです。
従って、本書によって保証書を発行している者(保証責任者)及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の交換についてなどご不明点は、ご契約されたサービス事業者へお問い合わせください。

<保証規定>

- 故障交換について
保証期間内での正常な使用状態にもかかわらず、当社システム上での通信・動作の正常性の確認、および当社お客さまセンターでの診断によって機器故障と判断した場合には本書記載の保証規定に基づき無償交換を行います。次のような場合には保証期間内でも有償での交換となりますのでご注意ください。

- 対象機器の機器管理番号を故障診断時にご確認できない場合。
- 当社システム、お客さまセンターでの故障診断が行えない場合。
- 故障受付時のご申告内容と返却された故障機器の状態が著しく異なる場合。
- 故障機器のご返却時に、記入済の不具合調査票を同梱いただけない場合。
- 交換品到着後1か月以内に当社で特定させていただいた故障機器をご返却いただけない場合。
- 取扱説明書記載されている使い方に反するお取り扱い、あるいはご購入後の設置場所の移動やご使用中の落下や衝撃、水濡れなどに起因する故障または損傷。
- ご使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理に起因する故障または損傷。

- 火災、地震、風水害、塩害、落雷、その他天変地異、あるいは電源異常などの外部要因に起因する故障または損傷。
- 消耗品が消耗、摩擦または劣化した場合、およびそれを交換する場合。
- 使用中に生じる傷などの外観上の変化
- 機器本体を除く付属品の故障または損傷。

- ・返却された機器及び一緒に返送された部材の所有権は当社に帰属するものとし返却された機器に関するデータなどの内容については一切の責を負わないものとします。
- ・機器の取り付け及び取り外し時、故障及び故障状態での使用により生じた直接/間接の損害・損失につきましては当社はその責任を負いかねます。

お問い合わせ先

本製品をご利用になるサービス事業者までお問い合わせください。
※ケーブルプラスHOMEご利用のお客さまはご利用のケーブルテレビ局までお問い合わせください

提供元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元: UNIONCOMMUNITY Co.,Ltd
輸入元: 安田株式会社